

一般社団法人 日本専門医機構

第4期第3回理事会 議事概要

1. 開催日時 令和2年8月21日(金) 16時02分～18時8分
1. 開催場所 日本橋ライフサイエンスビルディング 201会議室

16時02分、定刻を過ぎ、理事長より挨拶があり、出席理事の確認を行い、厚生労働省医政局医事課長の伯野春彦氏より就任挨拶の後、議事を開始した。

- I. 第4期第2回理事会(7月17日開催)議事録の確認
第2回理事会(7月17日開催)議事概要が提出された。

II. 協議事項

1. 専門医認定・更新委員会 協議事項

(1) 専門医更新二次審査について(整形外科・耳鼻咽喉科・泌尿器科)

大川理事より、機構の定めた更新基準に基づき学会の1次審査に合格した整形外科専門医(147名)、耳鼻咽喉科専門医(2,036名)および泌尿器科専門医(64名)について、委員会での2次審査の結果、機構認定専門医として認定したことが報告され、承認された。

(2) 専門医更新基準の改定について(リハビリテーション科)

大川理事より、リハビリテーション科領域より申請のあった専門医更新基準の変更について、委員会で審査を行い承認されたことが報告され、承認された。

2. 研究医養成に関するワーキンググループ 協議事項

(1) 臨床研究医コース整備指針策定について

大川理事より、臨床研究医コース整備指針(案)が諮られた。臨床研究医の養成および同整備指針(案)についての概要説明として、○7年コースで、臨床・研究の同時並行で、専門医資格と学位を両方取得、○定員は各基本領域に1名以上、計40名で、シーリング外で募集、○専門研修はカリキュラム制で行い、2年間責任医療機関だけでも可能、○当初2年間は集中的に臨床研鑽、後半5年間はエフォートの50%以上が研究、○First authorとして、SCI論文2本以上(case reportは除く)を義務付け、○コース在籍中は、責任医療機関の給与規定に従い身分保証等の特徴があることを説明した後、理事からの身分保障と定員の割り振り、ペナルティ、コース年限、合否判定への機構の関与の有無、募集スケジュール、広報等についての確認や意見をもとに協議がなされた後、承認された。

(2) 申請書フォーマットについて

大川理事より、臨床研究医コース申請書(案)が示され、承認された。

3. 総合診療専門医テキスト発行における出版社選定について

羽鳥理事より、総合診療領域について説明があり、今後行われる総合診療領域の専門医試験に向けてテキスト発行をすべく出版社選定について経緯の説明があり、出版社および出版時の契約における諸条件が示され、承認された。

4. 第4期委員会 委員候補について

第4期委員会の委員候補者が提示され、承認された。

5. 理事就任辞退に伴う理事候補者の補充について

理事長より、本田麻由美氏の理事就任辞退について報告があり、新たな理事候補者の補充について検討した結果、今期（第4期）理事会発足当初であることから補充を行いたいこと、その際、理事全体のバランスを考慮し、本田氏に代わるような方（女性、非医師）を補充したい旨を理事会の希望として理事及び監事候補者選考委員会に申し添えること、以上が提案され、承認された。

6. 理事及び監事候補者選考委員会委員の選任について

理事及び監事候補者選考委員会の委員の辞任により、新たな委員1名が承認された。

7. 臨時社員総会の開催について

6月30日に開催された定時社員総会で指摘された会費の問題を検討するため、臨時社員総会を開催する意向が示され、新たな理事候補者が選出されている場合その件も協議することと併せて承認された。

8. 専門研修プログラム委員会 協議事項

(1) 小児科および整形外科カリキュラム整備基準の改定について

北村理事より、小児科および整形外科領域より申請のあったカリキュラム整備基準の変更について、委員会で審査を行い承認したことが報告され、承認された。

(2) 2021年度専門研修プログラム申請取り下げについて（内科）

内科領域より、新規プログラム申請の取り下げ申請があったことが報告され、承認された。

(3) 「地域医療を学ぶ研修に適した地域」の研修を実施する地域について（総合診療）

本議題は取り下げられたことが説明され、承認された。

9. その他

松原監事より、「地域医療を学ぶ研修に適した地域」で定める該当地域については、5年間は制度を変えないという基本方針を維持していきたい旨、意見が出された。

Ⅲ. 報告事項

1. 今後の運営委員会開催日の確認について

第4期運営委員会開催日の報告がなされた。

2. 機構事務局の担当者について

理事長より、事務局職員の増員により、機構事務局の担当者について一部変更したことが報告された。

3. 各種委員会報告

(1) サブスペシャルティ領域検討委員会

渡辺理事より、7月28日に開催された委員会の議事概要が報告された。また、スケジュール案と3つの規定についてメール審議することが了承された。

(2) 基本領域連絡委員会（プログラム、認定更新等）

寺本理事長より、7月31日に委員会を開催し、臨床研究医コースの専攻医募集について各領域の意見をヒアリングした他、専門研修プログラム委員会、専門医認定・更新委員会の案件を協議・報告したことが報告された。

(3) 専門研修に関するハラスメント対策委員会

木村理事より、8月4日に開催された委員会の議事概要および専攻医向け相談窓口の挨拶文が示された。なお、専攻医からの相談に対し当機構としてどこまで介入するのか理事より確認がなされ、当機構としてはあくまでも専攻医が専門研修を円滑に進められるよう中立的な立場を取ることが説明された。

(4) 専門医認定・更新委員会、共通講習委員会

大川理事より、8月6日に委員会を開催し、議事録案記載の案件の協議・報告を行ったことが報告された。

(5) 研究医養成に関するワーキンググループ

大川理事より、8月8日に委員会を開催し、その後本日の協議事項を中心に協議を行ったことが報告された。

(6) 専門研修プログラム委員会

北村理事より、8月18日に委員会を開催し、本日の協議事項を中心に協議・報告を行ったことが報告された。

(7) 総合診療専門医検討委員会

羽鳥理事より、8月20日に開催された委員会の議事概要が報告された。9月20日に専攻医に対する説明会を開催することが提案され、了承された。

(8) 総務・規約委員会

兼松副理事長より、各委員会の委員長に「令和 2 年度各種委員会の構成、目的、目標について」を 9 月 4 日までにご執筆いただくよう依頼があり、了承された。

4. その他

(1) 要望書

総合診療専門医制度に関する要望書について、現在回答案を作成中であることが報告された。

(2) 次回（8 月 24 日）定例記者会見について

次回の定例記者会見を 8 月 24 日に行うことが報告された。

(3) その他

村井理事より、医学生修学資金地域枠に関する調査結果概要が報告された。